

第28回 宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議  
第25回 宮城県危機管理対策本部会議  
議事録

日時：令和3年7月7日（水）午後2時から

場所：行政庁舎4階 特別会議室

（危機管理監）

ただいまから第28回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議及び第25回宮城県危機管理対策本部会議を開催します。

議事進行を本部長である村井知事をお願いいたします。

（本部長：知事）

それでは、「1 新型コロナウイルス感染症患者の発生状況等について」、保健福祉部から説明してください。

（保健福祉部長）

< 資料1について説明 >

（本部長：知事）

スライド番号2番の調整中の6人は昨日発生した人ですか。

（保健福祉部長）

おととい時点になります。

（本部長：知事）

調整中をなるべく早くしてください。

（保健福祉部長）

基本的にはホテルに入る待機の時間です。当日中は難しく。

（本部長：知事）

そういうことですか。

次に、「2 リバウンド防止に向けた県の対策等について」の「(1) 人流等の動向について」、企画部から説明してください。

(企画部長)

< 資料2-1について説明 >

(本部長：知事)

次に、「(2) 感染再拡大に備えた検査体制の充実について」、保健福祉部説明してください。

(保健福祉部長)

< 資料2-2について説明 >

(本部長：知事)

2番の高齢者施設の職員の頻回検査について、7月に入ってから患者が見つかったという例はありますか。

(保健福祉部長)

7月からは陽性者は確認されていません。

(本部長：知事)

ワクチンの効果が出ているんですね。わかりました。

次に、「(3) みやぎ飲食店コロナ対策認証制度の運用状況について」、環境生活部から説明してください。

(環境生活部長)

< 資料2-3について説明 >

(本部長：知事)

認証を早めるために何か手は打っていますか。

(環境生活部長)

2の制度定着の取組の申請のところに書いてありますけれども、各店舗、3つ目に書いてありますが、店舗への個別案内、これはG・T・O・イトをやった店が約4,000店舗ありますけれども、その個別店舗に対して働きかけを行っているということでございますし、先だってその4つ目に書いてありますが、スポーツチームと連携したコロナ対策啓発活動としてPRしているということでございます。

(本部長：知事)

あと現地調査のチームを増やしたのですね。

(環境生活部長)

先ほど説明は省いてしまいましたが、一番下に現地調査・助言という項目がございまして、事業者に願うチーム数も増やしましたし、あと県庁直営のチームもラインとして増やしたということです。

(本部長：知事)

申請したお店は非常にやる気のあるお店なので早めに調査して、早めに認証するようにしてください。

続いて、経済商工観光部から説明してください。

(経済商工観光部長)

資料はございませんが、認証取得促進策の状況について報告申し上げます。まず始めに認証取得に必要な設備や備品等の整備を支援する飲食店感染予防環境整備支援事業補助金でございますが、7月1日から申請受付を開始したところでございます。

2点目でございますが、認証店応援食事券についてでございます。開始時期につきましては7月中旬からの販売と利用の開始を目標に準備を進めておりましたが、先週から感染者数が増加傾向にありますこと、あと企画部からの説明にもありましたように仙台市中心部の人流も増加してきていると、そういうようなことを踏まえまして、現段階では今年3月に感染者が急増したという状況もございましたので、今後の感染状況の動向をもう少し見極めながら検討してまいりたいということで考えているところでございます。

(本部長：知事)

応援食事券については少し様子を見ると。

(経済商工観光部長)

はい。

(本部長：知事)

ほかに宿泊割引のような経済対策も考えていたと思いますが、それについてはどうですか。

(経済商工観光部長)

県民限定の宿泊割引キャンペーンでございますが、宿泊施設につきましては業界団体の方で制定しました感染拡大防止ガイドライン、こういったものに基づきましてそれぞれが徹底した感染予防対策を講じていただいているということもありまして、クラスターはほとんど発生していないという状況がございます。

また、先ほど保健福祉部から説明がありましたように医療提供体制の負荷となるステージ判断の指標この状況、あるいは感染状況がほぼ同様の近隣の県の方で同じ宿泊割引券キャンペーンが実施されているとそういったような状況もございますので、早期の実施に向けまして現在準備を進めているところでございます。

(本部長：知事)

そうすると、食事券の方は少し様子を見る、宿泊割・旅行割のものについては前向きに今検討していると。後で皆さんにまとめて御意見を伺いたいと思いますので、それに対する何かありましたら、御意見をもらえればと思います。

次に「(4) ワクチン接種の加速化について」保健福祉部から説明してください。

(保健福祉部長)

< 資料2-4について説明 >

(本部長：知事)

今日の議題にはしませんけど、ファイザーワクチンの確保は最優先ですので、よろしくお願ひします。

次に「3 7月12日以降における県の対策等について」復興・危機管理部から説明してください。

(復興・危機管理部長)

< 資料3について説明 >

(本部長：知事)

今のは、リバウンド防止徹底期間を8月末まで延ばすということですね。

(復興・危機管理部長)

はい。

(本部長：知事)

わかりました。

それでは今出ました意見全般につきまして、本日御出席をいただいております佐藤宮城県医師会長から御意見を伺いたいと思います。

(宮城県医師会：佐藤会長)

佐藤でございます。

今、御説明ありましたようにこのリバウンド防止徹底期間を8月末まで延長するという

ことに賛同いたします。

その下に書いてありますとおりでございますが、今後仮に、感染拡大の予兆が確認された場合には直ちに本部会議を開催し、強い措置への移行を検討すると書いてありますけど、本当にそのように私も思いますので、よろしくどうぞお願いいたします。

(本部長：知事)

他に専門家の御意見承っておりますら、保健福祉部お願いします。

(保健福祉部長)

宮城県感染症対策委員会委員長の賀来先生には、事前にこの対策案を御覧いただきました。

特に御異論はいただかなかったという状況であります。

(本部長：知事)

はい。

それでは仙台市の木村局長から何かありますか。

(仙台市：木村局長)

県・市独自の緊急事態宣言解除後この間、仙台市内、宮城県内とも顕著なリバウンドを来すことなく、感染を一定の水準に抑え込むことができているものと考えておりますけども、このところ本市におきましても新規陽性患者数が二桁になる日が多くなってきておりまして、今後様々なデータや指標の推移を注視していく必要があるものと考えてございます。

引き続き、宮城県様としっかり連携をとらせていただきながら、リバウンド防止、感染再拡大の防止に向けて取り組んでまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

(本部長：知事)

ありがとうございました。

それではまず、新型コロナウイルス感染症対策、リバウンド防止徹底期間についてこの期間を8月31日まで延長するという事について御異議はございませんでしょうか。

<異議なし>

(本部長：知事)

よろしいですか。ありがとうございます。

それから、食事応援券につきましては、少し販売を少しだけ様子を見るということにさせていただきます、併せて、経済対策のもう一つの柱であります県民限定の宿泊割引につきましては先ほど経済商工観光部長から話がありましたように、しっかりとしたガイドラインに基

づいて対策がなされているということと、旅館やホテルからクラスターがほとんど発生していないということ、また、同様の対策を近県で実施しているというようなことから、制度設計をしっかりとした上で私からマスコミに発表することについても御同意いただけますでしょうか。

<異議なし>

(本部長：知事)

よろしいでしょうか。ありがとうございます。  
それではそのようにさせていただきたいと思います。  
その他、皆さんから何か御意見ございますか。

<特になし>

(本部長：知事)

よろしいですか。  
それでは以上で議事を終了いたします。

(危機管理監)

以上で、第28回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議及び第25回宮城県危機管理対策本部会議を終了いたします。  
ありがとうございました。